

## II 学校経営方針

### 1 校訓

誠実 健全 親愛 勤勉

(自他ともに誠実である 心身ともに健全である 互いを親愛で結ぶ 常に勤勉である)

### 2 教育目標

「誠実 健全 親愛 勤勉」の校訓のもと、人格の陶冶をはかり、知・徳・体の調和のとれた、みずみずしい感性を備えたところ豊かな人間を育成する。

### 3 教育方針

激変する社会で確かな判断をするための『学力』、『体験』、『コミュニケーション能力』の3つに挑戦し、自立して未来を生きぬく力をはぐくむ。

### 4 わが校のキャッチフレーズ

ワンランク上への自分磨き 舞子高等学校

### 5 学校経営の重点

将来の夢や目標に向けて、創造性やチャレンジ精神をもち、自らの個性や可能性を伸ばす意欲を持ち、自ら考え行動し、自立して生涯にわたってたくましく生き抜いていける力の育成をめざした教育活動を展開する。

#### (1) 自己実現を目指した進路指導の充実

自己理解を深めるための情報提供や相談活動を充実し勤労観・職業観を育成し、主体的に進路を選択できる能力・態度を育てる。

#### (2) 学力向上を目指す学習指導の充実

学力の3要素(①知識・技能 ②思考・判断・表現力 ③主体性・多様性・協働性)を育成するための指導内容の充実と指導方法の工夫・改善により分かりやすく達成感が味わえる授業の実現に努め、学習意欲の向上と学習習慣の定着を図り学力の向上を目指す。

#### (3) 内面理解に基づく生徒指導の充実

人間的なふれあいを通じて心のきずなを深め他者を思いやる心を育むとともに、規範意識や公共心などの社会性を培い、生徒の自主性・自律性を育成する。

#### (4) 実践力を培う健康教育と安全教育の充実

自他の生命を尊重し、生涯にわたって健康で安全な生活を送ることができる態度・習慣を培う。また、災害等から生命を守る実践的態度や能力を育成し点検や訓練を通して学校生活の安全を徹底する等安全意識の高揚を図る。

#### (5) 魅力ある学校づくりの推進

地球規模で考え地域で活動する(Think Globally, Act Locally)人間の育成に努める防災教育を充実させるとともに、自尊感情を高め社会に貢献できる人材を育成するために、特色ある教育課程の充実や体験的な学習を推進する。

### 6 教科指導及び生徒指導(特別教育活動を含む)の重点

#### (1) 自己実現を目指した進路指導の充実

ア ワンランク上の入試に挑戦する取組

1年生から学習習慣を定着させ、入試等の最新情報を共有し、生徒の自己実現をめざす。

イ 勤労観・職業観の育成

生徒が自己理解を深め、将来を見通して勤労観・職業観を形成し、社会に貢献できるよう自立心の涵養に努める。

#### ウ 主体的な進路選択能力の育成

教育活動全体を見通した進路指導計画を作成し、生徒が主体的に進路を決定できるように高校生キャリアノートを活用しながら指導・支援する。また、保護者と連携しながら、生徒・保護者に適切な情報を提供し、個に応じたガイダンスの充実に努める。

#### エ キャリア教育の充実

大学や企業の研究施設と連携しながら、上級学校での体験学習・インターンシップなど、体験活動の充実に努める。キャリア教育を充実させ、生徒が目標を立てその目標達成に向かって、必要な知識・技能を身につけ、自らの意志と責任で進路を決定できる能力を育成する。

### (2) 学力向上を目指す学習指導

#### ア 学習習慣の定着

積極的な生徒指導により落ち着いた学習環境をつくり、1年生で基本的な学習習慣を身につけ、2年生では主体的な学習習慣を定着させ、3年生では自らの進路実現に向けた学習習慣に発展させていく。

#### イ 教育課程の編成

地域や生徒の実態を十分考慮し、生徒の能力や適性、進路希望等に応じた教育が適切に行われるように努める。

第1学年では、国語・数学・英語等の基礎学力の充実に努める。また、第2学年から文系・理系の類型を設置するとともに、各類型での選択科目を充実させる。また、先進理工類型では学校設定教科「アドバンスト・スタディズ」を設け、環境防災科では多くの学校設定科目を設け、生徒の個性・能力の伸長と進路希望の実現に努める。

#### ウ 指導内容の充実

各教科における基礎的・基本的事項の指導の充実に努める。また、教材の研究と開発に努め、個々の生徒に応じた学習課題を設定するなど、自ら学ぶ意欲や態度を育てる。

#### エ 指導方法の工夫・改善

学習指導の目標・内容・方法及び評価の一体化を図り、生徒に学習に対する課題意識を持たせ、学ぶ喜びや達成感が味わえ、学習習慣が身につくよう指導方法の創意工夫・改善に努める。

#### オ 授業時数の確保

学校行事の精選や7時間目授業の実施により授業時数の確保に努め、質の高い授業展開の実現と生徒の学力の定着を図る。

### (3) 内面理解に基づく生徒指導

#### ア 基本的な生活習慣の確立

規律正しい学校生活を実現するために、時間の厳守、規則の遵守、適切な言葉づかいや挨拶、交通安全等の基本的な生活態度や習慣の確立に努める。さらに生命を尊重し、安全・安心を確保するための資質や能力の育成を図る。

#### イ 生徒一人一人の内面的理解に基づく指導の充実

生徒一人一人の内面的な理解に努め、教育相談等の一層の充実に努めるとともに、学級担任、教科担任、部顧問等すべての教職員が関わる組織的な生徒指導に努める。また、いじめ基本方針を見直し、健やかな人間関係の構築を図り、健全な学校生活の充実に努める。

#### ウ ホームルーム、生徒会活動および部活動の活性化

ホームルームは学校における集団生活の基礎となる場であるという認識に立って、豊かな人間性を培い、好ましい人間関係を形成できるように計画的に運営する。また、生徒会活動や各種生徒委員会の自主的・自律的な活動が、教職員の指導助言のもとに活発に展開されるように努める。また、部活動を通して生徒の人間性を高め、充実した高校生活を送れるよう活動の活性化に努める。

#### エ 学校行事への主体的な参画の促進

高校生ふるさと貢献・活性化事業等に生徒が主体的に参画するよう促し、達成感や自己有用感を味わうことで、自信や誇りを身に付け、努力が必要なことに挑戦する力を育む。

#### (4) 人権教育

##### ア 人権教育の基本的な考え方

人権尊重の精神を培うため、人権教育を生徒の発達段階に応じてあらゆる教育活動に位置づけ、家庭や地域社会等と連携して推進する。

##### イ 推進体制の整備・充実

人権教育推進委員会は、人権尊重の教育に関する最近の研究について研修の企画を立て、人権にかかわる教育課題を明らかにし、全教職員の共通理解に立った指導の展開に努める。

#### (5) 魅力ある学校づくりの推進

##### ア 環境防災科の充実に向けた研究

(ア) 環境防災科の教科内容や体験活動の精選と充実

(イ) 環境防災科を核にした兵庫の防災教育の幅広いネットワーク構築

##### イ 先進理工類型の充実に向けた研究

(ア) 大学や研究所との連携による実践的な講義や演習の充実

(イ) 学校設定教科「アドバンスト・スタディズ」による理系教育の推進

##### ウ 体験的な学習の推進（環境教育・防災教育・国際理解教育・情報教育・福祉教育等）

高校生ふるさと貢献・活性化事業の推進を通して、特色ある学校文化の創造と豊かな人間性を育成する。

##### エ 「総合的な探究の時間」の充実

キャリア教育とシティズンシップ教育を柱に、防災教育、道徳教育等の充実と社会人基礎力の育成を図る。

##### オ 開かれた学校づくりの推進

(ア) 学校評議員制度や学校評価システムを活用した信頼される学校づくりの推進

(イ) 学校行事を通して、家庭や地域社会との連携の推進

(ウ) 家庭や地域と連携・協力した防災訓練や震災の教訓を生かす「伝え」「活かす」「備える」実践的な兵庫の防災教育の推進

(エ) 中学校に学校の特色や魅力を積極的に発信する

### 7 健康管理に関する指導の重点

#### (1) 日常活動の重視とその推進

ア 生徒、教職員が共に健康管理の重要性を認識し、日常生活や学習活動の基盤として正しく位置づけることに努める。

イ 保健部、養護教諭、学級担任との緊密な連携や協力体制のもと、学校保健委員会の充実と活発な活動を推進することに努める。

ウ 生徒保健委員会の自主的・積極的な活動をうながすよう、指導方法の工夫に努める。

エ 生徒一人一人の生活環境や心身の健康状況を的確に把握し、学習指導・生徒指導の充実に努める。

オ 充実した学校生活を送るために、いじめや不登校などに関する研修を行い、教育相談委員会の充実に努める。

## (2) 疾病の予防と早期発見・早期治療

- ア 定期健康診断の結果を活用し、適切な事後措置を行い、生徒の健康の保持増進を図る。
- イ 定期健康診断、健康調査等によって、疾病・異常の早期発見に努める。
- ウ 家庭や学校医等との密接な連携を図り、保健室の機能を生かしながら早期治療に向けた適切な指導を行う。

## (3) 学校安全と安全教育の推進

- ア 全ての教育活動において、生命の尊厳を基盤として、安全について常に万全を期するとともに、生徒自身に健康状態を把握させ、危険防止と集団行動についての認識を深めさせるように努める。
- イ 登下校時における交通安全教育の徹底を図り、事故防止に努める。
- ウ 学校内で安全、安心な教育環境の確保のため、日常から、環境や施設・設備等の安全性を絶えず点検し、安全教育の徹底に努める。
- エ 「命の大切さ」を実感させる教育を推進し、自他の生命の尊重について実感させる。

## (4) 環境の整備と美化

- ア 気持ちよく学校生活を送れるように、校地の緑化や校舎内外の整備、美化の推進をめざし、教育環境の整備に意欲的に取り組む。
- イ 美しい環境がこころ豊かな人間を育むことを体験的に自覚させるために、日常の清掃や定期的な大掃除を確実に実施し、環境美化に自主的に取り組む姿勢を育む。
- ウ 環境問題への理解と啓発のため、ごみの分別に全校あげて積極的に取り組む。

## 8 研究テーマ

- (1) 入試・新学習指導要領への対応と学習習慣の確立について
- (2) 普通科文系の教育内容の改善について
- (3) 先進理工類型と環境防災科のさらなる魅力発信について
- (4) 国際理解教育の推進について
- (5) 生徒の規範意識の醸成と自立心の向上について
- (6) 兵庫の防災教育の全国発信に向けた環境防災科の充実について
- (7) 地域との協働の推進について

## 9 高校生ふるさと貢献・活性化事業及び高校生就業体験事業内容

### (1) 高校生ふるさと貢献・活性化事業の推進

- ア ふれあい舞子 ―みんなで防災―
  - (ア) 環境防災科の教育活動等において、防災教育を推進し、防災に対する意識の啓発と、防災リテラシーの向上に努める。
  - (イ) 県の総合防災訓練や地域の防災訓練等に積極的に参加し、防災に対する理解を深めるとともに、地域防災の大切さや防災に対する意識を高める。
  - (ウ) 第1学年においてすべての生徒が救急法講習を受講することで学校生活等における緊急事態に際して必要な人命救助の技能を身に付けるとともに、命の大切さや思いやりの心を育成する。
  - (エ) 地域と連携して、阪神・淡路大震災の犠牲者の追悼と体験の継承を目的とした、1.17震災メモリアル行事『阪神・淡路大震災を忘れない～21世紀を担う私たちの使命～』

を実施する。また、行事の企画・運営については生徒が主体的に行い、保護者や地域住民、近隣の小・中学生との交流を深めるとともに、阪神・淡路大震災の教訓を継承し、自らの生き方について考えさせる。

(オ) 消防署体験や消防学校体験入学を実施し、災害時の救助活動の中心となる消防活動について、自らその活動を体験し理解を深める。

(カ) 国内外の災害に対する復旧支援活動や募金活動に主体的に参加したり、地域のボランティア活動に取り組むことを通して「共生」の心を育む。

#### イ ふれあい舞子 ―福祉施設訪問―

吹奏楽部や生徒会、ボランティア部等が協力し、近隣の福祉施設等との交流を実施するなど、福祉の心と実践力を育てる。

### (2) 地域に開かれた学校づくり

#### ア いきいき生徒体験活動 ―ローカルパートナーシップ―

(ア) オープン・ハイスクールや環境防災科説明会、先進理工類型説明会を開催し、地域の中学校や生徒・保護者に本校の教育内容や教育活動についての理解を促進する。また、生徒会や部活動生徒などが企画・運営に積極的に参加することで、生徒の主体性や自信、愛校心等を育む。

(イ) 学が丘コンサートや舞子祭などの学校行事に、高齢者施設等の人々や保育園児・幼稚園児、小・中学校の児童生徒を招待して、「ふれあいの場」を設けて交流を深め、体験を共有することで思いやりの心を育む。

(ウ) 生徒が学んだ防災の成果を近隣の小学校で出前授業として行う「小高連携いきいき授業」を実施し、小学生との交流促進や地域の防災意識の高揚に貢献する。

#### イ 異文化体験活動 ―グローバルフレンドシップ―

国連地域開発センター防災計画兵庫事務所や、ネパールの防災NGOであるNSE T - Nepalと連携して「防災」をテーマにした国際交流を推進する。

### (3) 就業体験活動の推進

#### ア インターンシップ ―キャリア教育―

大学や企業の研究施設、職業体験施設、福祉施設、医療施設等での体験を通じて、望ましい勤労観、職業観を育み、社会人としての自覚を形成する契機とする。

#### イ 高校生・ふれあい育児体験

園児とのふれあいを通して、命の大切さや優しさを身につけさせ、思いやりの心を育む。

## 10 特別支援学校と高等学校との交流及び共同学習実施事業(県立高校魅力アップ推進事業で実施)

障害のある生徒と障害のない生徒の相互理解を推進し、地域社会の一員として生きる力を共に育み、その教育効果を一層高めるため、高等学校の施設活用等による合理的配慮を踏まえた計画的組織的な交流及び共同学習を行う。教育課程に位置づけた交流を県立視覚特別支援学校と3回行う。

## 11 心の教育の推進 ―キャンパスカウンセラーの配置―

生徒の内面を多角的・総合的に理解するため、家庭との連携を強化して教育相談の充実を図る。

(1) キャンパスカウンセラーによるカウンセリングの日を(年間27回)設定し、生徒や保護者の教育相談、生徒に関わる職員の相談を行う。また、全教職員のカウンセリングに対する意識の高揚と生徒理解能力・技術の向上を目的とした職員研修会を実施する。

(2) キャンパスカウンセラーと教育相談委員会、担当者等が連携して、随時必要に応じ相談できる体制の確立に努める。

## 12 スクール・ミッション、およびスクール・ポリシーについて

### (1) スクール・ミッション

「誠実 健全 親愛 勤勉」の理念のもと、確かな判断をするための学力、体験から積極的に学ぶ姿勢、コミュニケーション能力を備え、激変する社会で自立して未来を生き抜くことのできる人材を育成する。

### (2) スクール・ポリシー

#### 【全日制・普通科】

##### 育成をめざす資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）

- ・自ら考え行動し、自立して未来を生き抜くことのできる人材を育成する。
- ・規範意識や公共心などの社会性を培い、生徒の自主性・自律性を育成する。
- ・人間的なふれあいを通じて、心のきずなを深め、他者を思いやる心を育む。
- ・将来の夢や目標に向けて、自らの個性や可能性を伸ばす意欲を育てる。
- ・自尊感情を高め、社会に貢献できる人材を育成する。

##### 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

- ・ICT機器を活用し、分かりやすく、達成感が味わえる授業を展開する。
- ・学びの基礎・基本の定着を図るため、少人数授業・習熟度別授業の充実を図る。
- ・第2学年から文系・理系の類型を設置し、各類型で充実した選択科目を設定する。
- ・高大連携・学社連携のもと、大学や企業の様々な研究に触れる機会を設け、体験活動の充実を図る。
- ・先進理工類型では、将来理工系の分野で活躍すべく、3年間の学びを生かした課題研究を設定する。

##### 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

- ・本校の特色ある教育内容を理解し、本校で学習する強い意欲を持っている生徒を募集する。
- ・基本的な生活習慣が身に付いており、自らの個性や可能性を伸ばす意欲がある生徒を募集する。
- ・目標達成に向かって、自らの意志と責任で進路を決定できる生徒を募集する。

#### 【全日制・環境防災科】

##### 育成をめざす資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）

- ・自ら考え行動し、自立して未来を生き抜くことのできる人材を育成する。
- ・規範意識や公共心などの社会性を培い、生徒の自主性・自律性を育成する。
- ・人間的なふれあいを通じて、心のきずなを深め、他者を思いやる心を育む。
- ・環境・防災に関する課題の解決を通して、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を育成する。
- ・防災教育により、地球規模で考え地域で活動する（Think Globally, Act Locally）人材を育成する。

##### 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

- ・ICT機器を活用し、分かりやすく、達成感が味わえる授業を展開する。
- ・学びの基礎・基本の定着を図るため、少人数授業・習熟度別授業の充実を図る。
- ・生徒の能力伸長と進路実現のため、本校独自の学校設定科目や特別非常勤講師の講義を数多く設定する。
- ・大学をはじめとする様々な研究機関等と連携して、実践的・体験的な学習の充実を図る。

- ・地域住民や小・中学生との交流において、防災・減災に関する発信を行い、表現力やコミュニケーション能力を磨く学びを展開する。

#### 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

- ・環境防災科の取組内容を理解し、強い学習意欲を持っている生徒を募集する。
- ・基本的な生活習慣が身に付いており、学習や課外活動に積極的に参加する生徒を募集する。
- ・自らの意志と責任で進路を決定し、職場や地域におけるリーダーを目指す生徒を募集する。